

第3回 苫小牧市中小企業振興審議会要旨

1 日 時 令和3年11月24日(水) 13:30~14:30

2 場 所 苫小牧市役所職員会館3階 304号室

3 出 席

(1) 苫小牧市中小企業振興審議会委員

伊藤委員、遠藤委員、太田委員、奥村委員、加藤委員、坂本委員、佐々木委員、
須田委員、高橋委員、服部委員、藤本委員、増田委員

(2) 事務局(市)

産業経済部 : 金谷部長

産業振興室 : 白川室長 企業政策室 : 早崎室長

商業振興課 : 小泉課長、長谷川主査、新田主査、朝倉主事

工業・雇用振興課 : 木澤課長、齋藤主査、高橋主事、小野寺主事

4 概 要

(1) 開会

苫小牧市中小企業振興審議会開会(委員15名中12名出席、苫小牧市中小企業審議会規則第4条第2項の規程による審議会開催の定足数を満たしている)

(2) 報告

①前回の意見交換会の結果について

遠藤副会長より、8月18日(水)の第2回中小企業振興審議会後に開催された意見交換会の結果報告。まず、高橋会長より苫小牧市中小企業振興条例が制定された目的・意義等について説明があったことを報告。併せて、各委員より、「市内事業者数の推移」「計画の3本柱について」「とまサポの実績等」「ICTの活用について」「企業合併について」質問や発言があったことを報告。

②中小企業振興計画別冊(令和3年度新型コロナ経済対策)について

事務局より資料1に基づき、前回審議会におけるご意見への回答として「中小企業振興計画別冊(令和3年度新型コロナ経済対策)」を作成したこと、また現在実施中の事業、昨年度実施した事業及び実績を報告。併せて、HPに掲載しているPDFをインターネットにつながるパソコンやスマホから開くと、各事業の関連ページへリンクがつながることを説明。

③市内事業者数の推移について

事務局より資料2に基づき、前回意見交換会におけるご意見への回答として「市内事業者数の推移」を報告。併せて、現時点における最新の統計は「平成28年経済センサス活動調査」であること、次期計画には最新の統計資料を掲載することを説明。

○坂本委員

表における「複合サービス業」について具体的に教えて欲しい。

●事務局

郵便事業、銀行窓口業務や保険窓口業務など、市町村等からの委託を受けることなどにより、複合的に各種サービスを提供する事業者などがある。

○坂本委員

了解した。また、事業者数は平成24年度から平成28年度にかけて微減となっているが、医療福祉などは伸びている。今後新しい統計が出てきたら、また検証してまいりたい。

④とまサポの実績について

事務局より資料3に基づき、前回意見交換会におけるご意見への回答として「とまサポの概要、閲覧実績・閲覧推移及び閲覧数の多いページ」を報告。引き続き、市や関係機関の中小企業向けの情報発信について、本サイトを活用していきたいことについて説明。

(3) 議事

①苫小牧管内の雇用状況について

服部委員より、資料4-1及び4-2に基づき「ハローワーク苫小牧の雇用状況」について説明あり。コロナ禍における求職者の現状、また道内における苫小牧管内の現状等について説明。

②苫小牧商工会議所の取組について

遠藤副会長より、資料5に基づき、苫小牧商工会議所が実施する「経営発達支援計画」の概要及び取組について説明。

③第二次苫小牧市中小企業振興計画の骨子（案）について

事務局より、資料6に基づき「第二次苫小牧市中小企業振興計画の骨子（案）」について説明。本案は現段階における頭出しであり、以降の審議会については、3つの柱ごとに議論を進めていただきたいことを説明。

○遠藤副会長

説明では、計画の内容が市の事業に反映されるとのことだが、それは商業振興課の事業に限られるのか、それとも部内まで話が広がるものなのか。また他の部とも共有されるのか、教えて欲しい。

●事務局

市は計画の大元として「苫小牧市総合計画」を策定しており、その内容は全体が共有しているものの、各部署の個別計画についてはなかなか難しいこともある。中小企業振興計画については、毎年別冊を作成する際に他部署の関連事業を集約しているため、今後も関係課にはこのような形で共有していきたいと考えている。

○奥村委員

他の課と連携するという話だが、予算について、例えば次年度は何%アップするかといった見通しはあるのか。

●事務局

次年度予算について各課要求中であり、内容が固まった段階で出すことは可能かもしれないが、現状では考えていない。

○奥村委員

色々な事を実施しようとする、特にICTは機器や環境を揃える等、準備が必要であるので、数値・目標があって実施されるのか確認したかったところである。よろしくお願ひしたい。

○藤本委員

骨子案の1(1)の項目に「市内でICT創業者を増やすとともに、他地域からの誘致を行います」とあるが、これはICT関連事業者だけを増やすように見えるが、他業種の創業も増やして、ICTを活用できるような環境を推進することとは違うのか。

●事務局

創業におけるICTの推進は、委員より多くいただいたところである。ICTは他業種と親和性が高く推進により売上増加が見込めること、またICT関連の事業者が増えることで、まだ市内で遅れている情報関連産業の活性化につなげたいということで、案として掲載したところである。

○藤本委員

ICT系の業種を増やすということによいか。

●事務局

はい。

○高橋会長

増やすのはICTのみか、それ以外も含めてか。

●事務局

ICTだけではないが、ICTは他業種との親和性など経済効果が高いため、特に誘致していきたいという考えである。

○高橋会長

ICTを増やしたいという考えのもとだが、他業種は増やしてはいけないというものではなく、こういった方向性で増やしていきたいという内容です。表現の話になるかと思いますが、藤本委員いかがですか。

○藤本委員

分かりました。

○高橋会長

骨子(案)は現段階のものであり、次回以降の審議会では3つの柱ごとに掘り下げていくので、その際には色々なご意見をいただきたいと考えております。

(4) その他

高橋会長より、次回審議会が令和4年2月16日(水)13:30～、職員会館3階304号室で実施予定であり、後日事務局より日程通知があることを説明。また、本審議会終了後、引き続き意見交換会を実施することを説明。

(5) 閉会